

慈啓会特別養護老人ホーム

木洩れびの家【花とアジサイ】 花壇たより

～花々とひとのつながりが地域をつなぐ～

発行所
愛称 旭ヶ丘花とアジサイ
花壇ボランティア

豊かな緑に囲まれた慈啓会特別養護老人ホームがあります

共生の理念のもと「木洩れびの家」を開設されて来年20年を迎えています。

木洩れびの家の館長(特別養護老人ホーム・副施設長)のご指導のもと花壇ボランティア愛好者総勢

18名で花壇づくりとメンテナンスをおこなう「慈啓会特別養護老人ホーム 旭ヶ丘木洩れびの家花とアジサイ

(愛称 旭ヶ丘花とアジサイ)」を発足しました

老人ホームと旭ヶ丘住民、花壇ボランティア、自治会との絆、交流を通して四季折々の花々を楽しんでいます

秋にはフラワーリースづくり、冬には、ゆきあかり回廊などを予定しています



木洩れびの家館長
(特養副施設長)

新名 規正

新型コロナウイルスの流行により永らく活動が休止しておりましたが「木洩れびの家」でございまして、この度、養護に入所されている三上さんが中心となり多くのボランティアの皆様により、雑草だらけになっておりました庭にたくさんのお花が咲きそろいました。この場をお借りしお礼申し上げます。

木洩れびの家は、サテライト施設としてご入居者、ご家族、地域の方々の交流の場として整備されました。午前10時から午後三時半頃まで、ボランティアさんにより運営されており、コーヒーマシン(無料)を飲みながら談笑されたり、サークルの活動拠点として活用されています。お花が咲いたことにより、更なる交流の場として活用されれば幸いです。ボランティアの皆様におかれましては、今後よろしくお願ひ申し上げます。



昨年十月中旬、夫婦して散歩しながら初めて木洩れびの家を訪れコーヒーマシをいただきながら交したボランティアの人との楽しい会話が忘れられません。いまだ膨大な予算をかけて大きな公園を作る時代ではない。空きスペースを活用するの理念のもと、住民同士で路地に花を植えるという考えで、木洩れびの家」の館長(特別 養護老人ホーム副施設長)にご指導を頂き花壇づくりを始めました。



花壇 1 ブロック 意識して北国の花々群

人ホームの人たちの憩いの場を夢見て…。小さな場所でも豊かに暮らすのも良いと思います。木洩れびの家」の中庭を見たときの印象は、日本庭園周辺の手入れが行き届いていない樹木、落ち葉の堆積に驚きました。清掃美化活動の必要性を感じました。そんな折、館長のご指導のもと、花好きの人たち、総勢18人で、愛称 旭ヶ丘花とアジサイというボランティア団体を発足させました。同時に、さつぽろ花と緑のネットワークに登録し、体制を整えました。

持続できる体制づくり



入口に入って左下に下がったくぼ地

は3年計画の予定で、クラの苗木

また、慈啓会と地元自治会、花壇ボランティアで持続できる体制ができました。当初、花壇づくり

それぞれの花壇ボランティアの人たちが担当します。緑豊かな自然と特養の理念である共生(ともいき)を願って……。3年計画が一年で達成。参加者の皆さんの努力の賜物です。



花壇5ブロック 軒下に花々が咲き誇っている